

## 2021年度 自己点検・自己評価

中部労災看護専門学校

| カテゴリー          | 評価   | 項目数 | 自己評価 |     |
|----------------|--|-----|------|-----|
|                |  |     | 合計点  | 平均点 |
| I 教育理念・教育目的    | 教育理念、教育目的、教育目標に追加して、卒業認定する基本的方針のディプロマポリシーを学生便覧に掲載した。このディプロマポリシー達成のためにカリキュラムポリシーを作成した。教育理念・教育目的を2021年度から学校の玄関に掲示した。労働者健康安全機構の「勤労者医療の充実」に向けては、引き続き、勤労者医療に貢献できる看護実践者の育成に取り組んでいる。                      | 11  | 33   | 3.0 |
| II 教育目標        | 2022年度改正カリキュラム構築において、人間を幅広く理解することを、基礎分野の科目および専門基礎分野の科目から専門分野の各看護学に繋げる教育の強化を目指すことにした。また、7つの教育目標ごとに学年ごとの到達目標を打ち出し、ディプロマポリシーとの関連付けた内容を検討した。   | 7   | 21   | 3.0 |
| III 教育課程経営     | 2022年度カリキュラム改正に向けた準備を行い、すべての領域別実習で、実習評価表をルーブリックで作成したものを運用している。各看護学実習では学習成果をまとめ、各実習施設に報告し指導の在り方をともに検討している。院外実習マニュアルの整備ができたことで、さらに院外実習施設における学生育成の連携強化を図る。  | 31  | 87   | 2.8 |
| IV 教授・学習・評価過程  | 科目目標および教育内容は学生便覧に掲載し、学校ホームページにもシラバスを掲載している。各教員は学生に課せられている課題を教員間で確認しあい、学生に過度な負担がないようにしている。授業評価は、終講時に学生からの統一した評価を実施しており、評価結果は各教員が次の授業の変更点に繋げ、内容によっては教務会議で変更点の検討をしている。Phollyによるタイムリーなレポート提出や返却を行っている。 | 17  | 46   | 2.6 |
| V 経営・管理過程      | 機器等整備計画を立案し、計画的に整備を進めており、学校および学生宿舎のWiFiの整備を完了した。必要な状況に応じて、IT教材の導入にも着手している。コロナ禍のため、必要時オンラインによる保護者会の開催ができるようにした。学校の設備、器材等を開放して、労災病院、特別養護支援学校との連携を図りながら、円滑な運営を目指した。                                   | 36  | 93   | 2.6 |
| VI 入学          | コロナ禍ではあったが、新入生が卒業してきた新規の高等学校の訪問を実施した。夏休み中は4週間を通して個別学校見学会・相談会を毎日実施した。外部進路相談会への参加も減少したが、オンラインによる学校説明会を2部構成で開催した。これらの説明会の中に教育成果の状況・労災病院のニーズ・高校生の進路へのニーズなどを反映させている。                                    | 2   | 6    | 3   |
| VII 卒業・就職・進学   | 国家試験は、個別指導を行ったりして、100%の合格率であった。卒業延期となった留年生や進路変更を理由に退学した学生もいた。メンタルヘルスの不調を訴える学生もおり、スクールカウンセラーによるカウンセリングを学生個々の状況のみて勧めている。   | 8   | 21   | 2.6 |
| VIII 地域社会／国際交流 | 今年度もコロナ禍で、実習施設のイベントのボランティア活動は行っていない。地域のニーズについての情報を得ながら、学生が触れる機会を今後も設けていく(小児科看護学実習の中の学童保育、子ども食堂など)。なかなか、国際的視野を広げる環境が整っていない。   | 10  | 22   | 2.2 |
| IX 研究          | 研究活動のための財政的な支援(研究費の支給)はあるが、時間的支援(研究時間の確保)、環境的支援の保証が難しい。研究を指導できる体制が整っていない。  | 3   | 5    | 1.7 |
| 総合評価平均点        |  |     | 2.67 |     |

自己点検・自己評価カテゴリー別平均値

